

# ハチドリ

詩・曲：宮嶋 信男

森が燃えていました。森の生き物たちは我先にと逃げます。一羽のハチドリだけは、くちばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは落とすしていきまふ。それを見た動物たちは「そんな事をして何になるんだ」と笑います。ハチドリは、こう答えました。「私に出来ることをしているだけ」と。

…これは南米アンデス地方に伝わる“ハチドリのひとしずく”という話です。…

♪ 岐阜県・関市平和委員会のサブネームは“ハチドリ”です ♪

1 ハチドリはくちばしで きぼうのたねを  
 2 ハチドリはくちばしで へいわのたねを  
 3 落とされた たねたちを そだ…てるのは

こ…のくに…じゅうに 落とすしていく  
 こ…のちきゅうじゅうに 落とすしていく  
 名も無き無辜のひと ひとりからふたりへ

つよ…くかろやかに 羽ばたきながら  
 へいわのハミングをか なでつづ…ける  
 やが…てい く おくのひ とびととなる

ハチドリにできること するだけ

ハチドリたちにできることか…ら

ひとつぶ ひとつぶ たねを落とすだけ さ

ハチドリは くちばしで  
 希望の種を  
 この国中に  
 落としていく  
 強く かるやかに  
 羽ばたきながら  
 ※ハチドリに  
 出来ること するだけ  
 ハチドリたちに  
 出来ることから  
 一粒 一粒  
 種を落とすだけさ

ハチドリは くちばしで  
 平和の種を  
 この地球じゅうに  
 落としていく  
 平和のハミングを  
 奏でつづけ  
 ※（くりかえし）

落とされた 種たちを  
 育てるのは  
 名も無き 無辜の人  
 一人から 二人へ  
 やがて幾億の  
 人々となる  
 ※（くりかえし）  
 一粒 一粒  
 種を落とすだけさ